

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第1学年 「算数（東京書籍）」

95時間（70%）

週	指導事項	単元名	小単元名	時間数	留意点
1 2 3	A (1) ア (ア) (イ) (エ) ア (ウ) イ (ア)	1. なかまづくりとかず	たりのかな	1	
			1-①おなじかずのなかまをさがそう (1から5)	3	・(P.12)「5はいくつといくつ」を学習しながら、「1から5」の学習内容の習熟を図る。
			2-①おなじかずのなかまをさがそう (6から10)	2	
			3-①いくつといくつ	5	
			4-①10をつくろう	1	・実態に応じて、前時の10の構成と併せて学習をする。
			5-①おおきさをくらべよう	1	
			6-①0というかず	1	
			こえにだしていおう		・1～6の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
14時間					
4 5	A (1) ア (イ) (ア) イ (ア) B (1) ア (ウ)	2. なんばんめ	1-①なんばんめかな、ばしょはどこかな	1	・生活の中で意図的に利用する機会を設ける。
			2-①どのようにかわるかな、しあげよう	2	・10までの数の合成、分解も併せて学習し、習熟を図る。
			かずをさがそう		・1～2の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
3時間					
6 7 8	A (1) ア (エ) (イ) A (2) ア (ア) (イ) イ (ア)	3. あわせていくつふえるといくつ	1-①～④あわせる	2	・ブロックなどを操作する時間を確保する。
			2-①～④ふえる	3	・実態に応じて、(P.9)「かあどをつかって」は、カードの使い方を授業で扱い、家庭学習でも利用できるようにする。
			2-①0のたしざん	1	・実態に応じて、「ふえる」の中で扱う。
			3-①おはなしづくり	1	
			たしかめよう	1	・1～3の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			8時間		
9 10	A (1) ア (エ) (イ) A (2) ア (ア) (イ) イ (ア)	4. のこりはいくつちがいはいくつ	1-①～⑦へる	3	・ブロックなどを操作する時間を確保する。 ・実態に応じて、(P.18)「かあどをつかって」は、カードの使い方を授業で扱い、家庭学習でも利用できるようにする。
			2-①0のひきざん	1	・実態に応じて、「へる」の中で扱う。
			3-①～⑤ちがいは	2	・ブロックなどを操作する時間を確保する。
			3-①おはなしづくり	1	
			たしかめよう	1	・1～3の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
8時間					
9 10	C (1) ア (ア) (イ) イ (ア)	5. どちらがながい	1-①～③どちらがながい	3	・長さを実際に比べる活動を行う。 ・生活の中で意図的に利用する機会を設ける。 ・新型コロナウイルス感染症に留意し、場合によっては、時期をずらす。
			3時間		
9 10	A (1) ア (ア) (イ) (ウ) イ (ア) D (1) ア (ア) (イ) イ (ア)	6. わかりやすくせいりしよう	1-①～②わかりやすくせいりしよう	2	・実際に整理する活動を行う。
			おぼえているのかな？		・5,6章の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
2時間					
9 10	A (1) ア (ア) (イ) (エ) (ウ) (キ) イ (ア) A (2) ア (エ) (イ) イ (ア)	7. 10よりおおきいかず	1-①～⑦10よりおおきいかず	6	・具体物を用いながら、10のまとまりを意識できるようにする。
			2-①～④かずとしき	1	
			3-①20よりおおきいかず	1	
8時間					

	C (2) ア (7) イ (7)	8. なんじなんじはん	1-①なんじなんじはん	1	・生活の中で意図的に利用する機会を設ける。
		1時間	おぼえているのかな?		・7,8章の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
	A (1) ア (5) A (2) ア (7) (4) イ (7) (5)	9. 3つのかずのけいさん	1-①～⑤3つのかずのけいさん	3	・2つの数の加法計算を基にして、3つの数の加法計算の仕方を考えることを扱う。
		3時間			
	C (1) ア (7) (4) イ (7)	10. どちらがおおい	1-①～④どちらがおおい	3	・生活の中で意図的に利用する機会を設ける。
		3時間	おぼえているのかな?		・9,10章の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
11・12・13	A (1) ア (5) A (2) ア (7) (4) イ (7)	11. たしざん	1-①～⑧たしざん	7	・実態に応じて、(P.67)「かあとをつかって」は、カードの使い方を授業で扱い、家庭学習でも利用できるようにする。
		8時間	たしかめよう	1	
	B (1) ア (7) (4) イ (7)	12. かたちあそび	1-①～④かたちあそび	2	・具体物を実際に扱い、ものの形に着目できるようにする。 ・新型コロナウイルス感染症に留意し、場合によっては、時期をずらす。
		2時間			
14	A (1) ア (5) A (2) ア (7) (4) イ (7)	13. ひきざん	1-①～⑧ひきざん	7	・実態に応じて、(P.83)「かあとをつかって」は、カードの使い方を授業で扱い、家庭学習でも利用できるようにする。
		9時間	たしかめよう	2	・「どんなけいさんになるのかな」も併せて学習し、習熟を図る。
16	A (1) ア (7) (4) イ (7) (5)	14. おおきいかず	1-①～⑤おおきいかず	5	
			2-①～⑤99よりおおきいかず	3	・(P.100)の数直線の学習を通して、これまで学習してきた数の理解を深める。
17	(4) (5) (6) (7)		3-①100よりおおきいかず	1	
			4-①～⑦かずととき	3	
18	A (2) ア (5) イ (7)		いかしてみよう		・1～4の追究の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。
			12時間		
19・20・21	C (1) ア (7) (4) イ (7)	15. どちらがひろい	1-①～③どちらがひろい	1	・新型コロナウイルス感染症に留意し、場合によっては、時期をずらす。
		1時間			
	C (2) ア (7) イ (7)	16. なんじなんぶん	1-①～⑤なんじなんぶん	2	・「8. なんじなんじはん」と関連させて扱う。 ・生活の中で意図的に利用する機会を設ける。
		2時間			
	A (2) ア (7) (4) イ (7)	17. たしざんとひきざん	1-①～⑨たしざんとひきざん	5	
		5時間			
	B (1) ア (7) (4) イ (7)	18. かたちづくり	1-①～⑥かたちづくり	3	・色板や数え棒を使った活動は、使い方や動機付けを授業で扱い、家庭学習でもじっくり取り組めるようにする。
		3時間			

※時間数の精選方法 (例)

- 授業中は学習の動機付けや考えを全体で交流して学びを深める活動に重点をおきます。
 - ・授業中は学習の見通しをもって問題解決を行うことで、単元、単位時間の授業を充実させます。問題練習や活動時間を授業中十分に確保できない場合は、学校生活や家庭学習も利用します。
- 活動の機会をつくる。
 - ・第1学年では、ブロック、模型時計、色板などを操作する中で、気付きを促したり、理解を深めたりすることが大切です。扱う内容に軽重をつけることにより、ねらいを明確にした活動の機会を重視するとともに、日常生活の中でも繰り返し活用できるように促します。
- 指導内容に基づき、授業中に扱う考えや活動を精選します。